

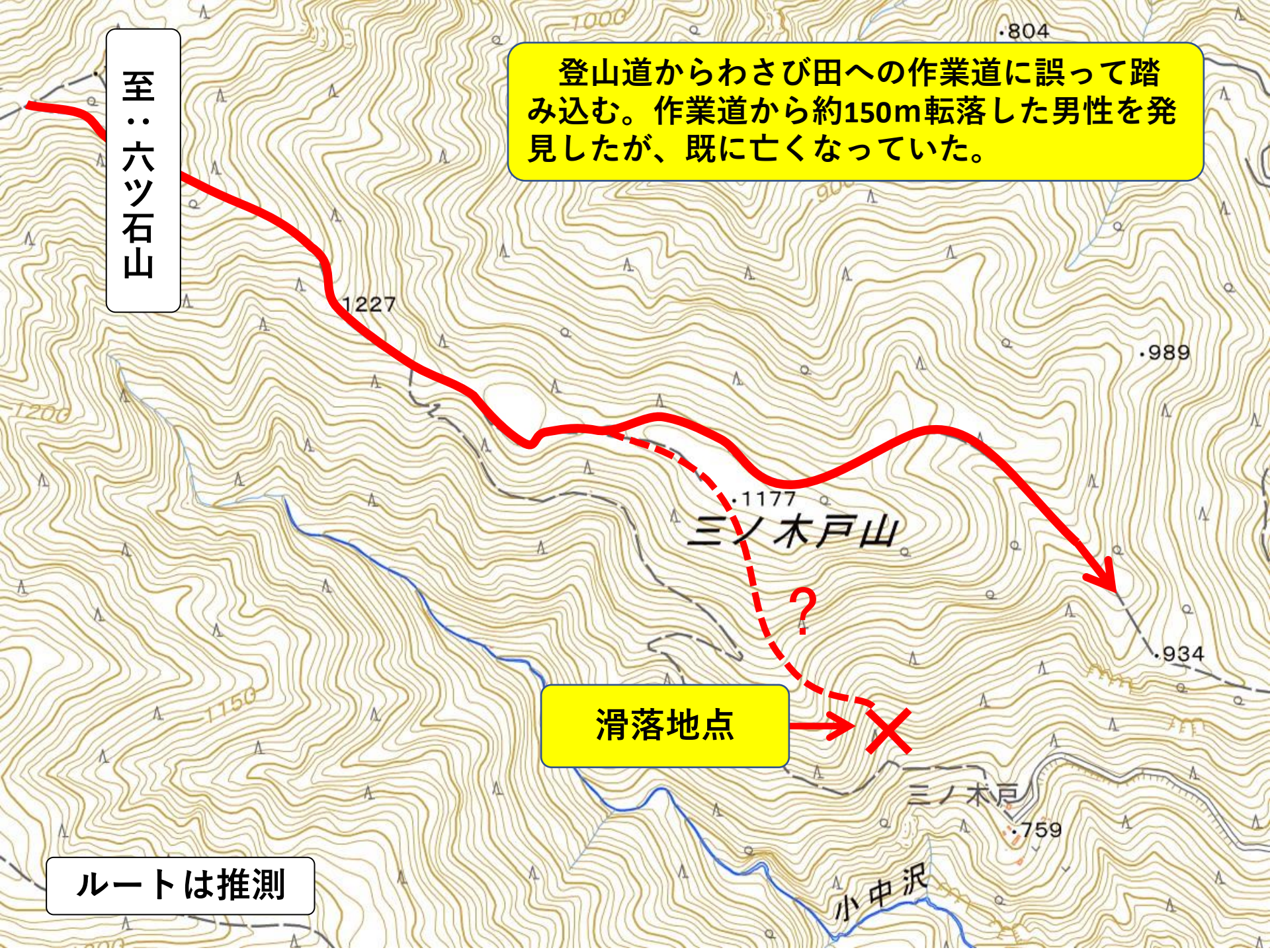
至六ツ石山

登山道からわさび田への作業道に誤って踏み込む。作業道から約150m転落した男性を発見したが、既に亡くなっていた。

三ノ木戸山

滑落地点

ルートは推測



里山には、様々な作業道がある。登山道とは違い、途中で道が不明瞭になることも多い。下山の場合、道が無くなっても「何とかなる！」と願望を抱き、下り続ける。これが、道迷いの不思議である。この事例では道がなくなり、急な斜面で足を滑らせ、滑落してしまった。

道迷いの心理は、初期の段階では「何とかなる」というポジティブな気持ちで行動している。中期になると「頑張れ！あと少しで助かる」と自分を励ましてしまう。この励ます段階になると行動を制御できずに下り続けてしまう。何故ならば、頑張るという行動が唯一の助かる手段だと考えてしまっているからだ。目の前に滝や岩場が現れて、やっと現実を見つめ行動が止まる。それが、道迷いの心理なのだ。